

検証授業スタート、下地秀隆先生(西崎中学校) 中学校体育  
「生徒が主体的に運動に親しむ態度を育む指導方法の工夫」

4月から進めてきた研究の成果を検証するための検証授業が6月からスタートしました。

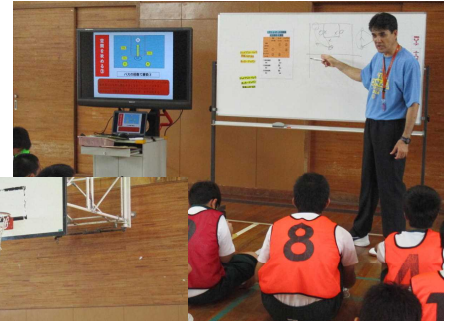
検証授業の第1弾は、西崎中学校下地秀隆先生の中学校体育。バスケットボールを教材にアクティブ・ラーニングにつながる「知識構成型ジグソー法」を体育教科に取り入れ、生徒の学びを深めようとする研究です。

生徒たちはエキスパート活動で専門的な技を習得し、ジグソー活動でグループ内に技を伝え、学びを深めていました。

終末のクロストークでは、グループ内でリーダーを中心に積極的に話し合う姿が見られ、最後の発表も多くの子の手が挙がる等、成果の多い検証授業でした。



空間を活用した積極的な攻防戦



ICTを効果的に活用



検証授業全日程

NO	日時	授業者	場所	テーマ
1	6月22日(水)	下地秀隆	西崎中学校	〈中学校体育〉生徒が主体的に運動に親しむ態度を育む指導方法の工夫
2	7月4日(月)	山城昌義	白川小学校	〈小学校国語〉児童が主体的に読む力を育むための指導の工夫
3	7月7日(木)	上原 司	兼城小学校	〈小学校体育〉児童一人ひとりが運動に親しむ学習指導の工夫
4	7月12日(火)	久保田力也	佐敷小学校	〈小学校道徳〉自他の考え方の違いやよさに気付き、自らの考えを深める授業づくり

検証の視点

- ①空間への走り込みや空間へのパス等を通して、空間の攻防をしながらシュートに繋げることができたか。
- ②空間の攻防戦の中で、学び合いや教え合いを通して、自分の考えを広げたり、深めることができたか。
- ③グループでの学び合いや話し合いの中で得た新たな気づきや理解等を伝えることができたか。



最後の発表も積極的でした。



リーダーを中心に授業の振り返り



下地秀隆 研究員

検証授業では指導講師の宮城調仁先生より多くの助言をいただきました。課題も多くなりましたが、生徒たちがジグソー法を通して成長した授業を展開することができました。多くの参観者の助言を今後の研究のまとめに活かしたいと思います。



外部参加者多数で中身の濃い授業研究会でした。

